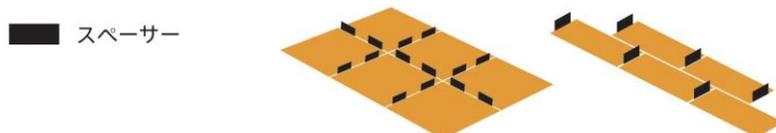


置敷きビニル床タイル フリーアクセスフロアへの施工方法

施工前の確認事項

◆ 施工の準備

- ・ 施工時の室温は15℃～35℃に保ち、あらかじめタイルを室温になじませてください。
- ・ ビニル床タイルや接着剤は室温の影響を受けやすいので、施工の前後12～24時間は急激な温度変化がないようにして、一定の室温を保ってください。
- ・ 施工時の室温が15℃以下の場合は、製品に同梱されている紙をミシン目に沿ってカットし「スペーサー」としてご使用ください。

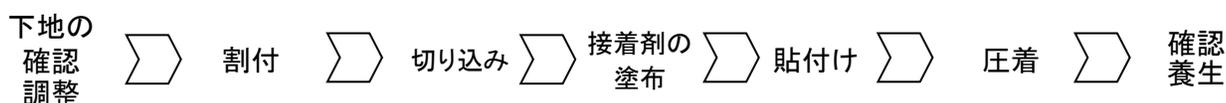


- ・ 室温が5℃以下の場合は施工を避けてください。
- ・ 保管時は室内の平坦な場所に置き、積載は5段までを限度とし、積み過ぎを避けてください。

◆ 商品選定上のご注意

- ・ サーバルーム等の高い帯電防止性能を必要とする場所での使用はお避けください。

施工手順



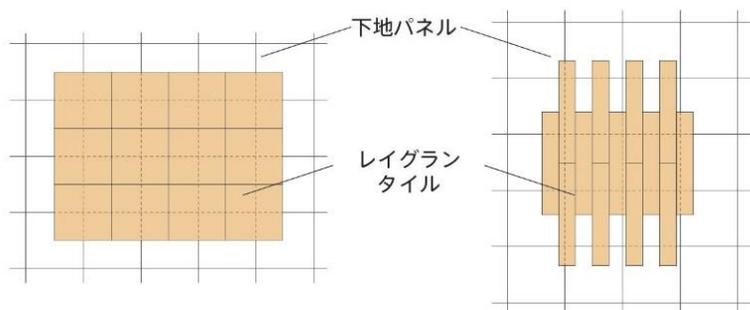
① 下地の確認・調整

- ・ 下地となるフリーアクセスフロアパネルの段差は1mm以下、隙間は2mm以内に調整してください。調整が不十分な場合、パネルの段差や目地がタイルの表面に現れる可能性があります。
- ・ フリーアクセスフロアの種類によっては、表面に凹凸や開口の多い形状のものがあります。タイルとの接地面積が少なくなると接着力が弱くなり、目地すきや突上げの原因となりますので、表面がフラットなパネルを選択するようにしてください。

② 割付

- ・ パネルの目地をまたぐようにタイルの目地を半分ほどずらして、目地同士が重ならないようにしてください。こうすることで下地パネルの段差が床面に現れるのを低減することができます。また、水などの液体がこぼれた際、パネルの下に流れ込みにくします。
- ・ タイルは自然素材が持つ色柄の変化を表現しているため濃淡の抑揚があります。貼付け前に仮敷きをして全体のバランスを調整してください。

下地パネルが 500mm 角の場合



置敷きビニル床タイル フリーアクセスフロアへの施工方法

③ 切り込み

- 一般的なビニル床タイル同様にカッターで切ることができますが、寸法安定性を持たせるためにガラス繊維を内包しているため、繊維層に到達するまで数回切り込んでからカットしてください。
- タイルは垂直にカットしてください。斜めにカットしますと突上げを招く場合があります。



④ 接着剤の塗布

- スポンジローラーを使用してピールアップボンドを全面に塗布してください。
- 塗膜が透明になるまでオープンタイムをとってください。
- 塗布量が少なかったり、オープンタイムが短いと、ピールアップ効果が十分に発揮されず、目地すきや突上げの原因となります。
- 下地パネルの目地や支持脚の固定ネジなどへ接着剤が流れないように塗布量には注意してください。

《推奨接着剤》

タイプ	アクリル樹脂系エマルジョン形
品名	リリカラピールアップ
荷姿	
仕様	91149 18kg / 91150 3kg
標準施工可能面積	約 120 ~ 180m ² /18kg 約 20 ~ 30m ² /3kg
用途	レイグラントイル
適用工法	ピールアップ工法
適用下地	モルタル、コンクリート、OAフロア、 合板等の乾燥下地 (水分指標 8% 以下)
オープンタイム (20℃)	10 ~ 20 分
貼り付け可能時間	—
特徴	JAIA F ☆☆☆☆

《標準塗布量》

吸水性下地 (モルタル等) 100~150g/m²
非吸水性下地 (鋼板等) 100~120g/m²

⑤ 貼付け

- 基準線に沿って、タイルを詰めすぎないようにゆるめに貼り付けてください。詰めすぎると突上げを招く場合があります。
- 下地パネルの段差などによって、目地ずれが生じる場合があります。ずれが大きくならないうちに調整しながら施工してください。

⑥ 圧着

- 下地との密着性を高めるため、45kgローラー等で十分に圧着してください。

⑦ 確認・養生

- 養生期間中は直射日光が当たらないようにし、水洗いやワックス塗布、重量物等の通行は避けてください。
- 養生シートは接着剤の乾燥後、通気性のあるものを使用し、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。
- 接着剤が硬化するまでの急激な室温の変化は、タイルの突上げや目地すきの原因となりますので一定の室温を保ってください。